

---

# デマンドタクシー実証運行事業 検証結果(案) 【概要版】

---



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と  
世界三大波濤のまち

# 1. 事業概要

## ■ 事業概要

JR留萌本線の廃止に伴い、JRが運行していた時間帯のうち、既存のバス路線が運行していない早朝及び夜間時間帯において、代替交通手段として、通学をはじめとする地域住民の移動機会を確保することを目的として、デマンド型乗合タクシーによる実証運行を実施する。



<デマンドタクシー車両>

## ■ 事業目的

### 目的①

市外学校への通学手段の確保

### 目的②

早朝及び夜間時間帯における移動需要の実態把握

## ■ 事業内容

区分	内容
実証実験期間	朝 令和5年度～令和6年度 夜 令和5年度～令和7年度
運行事業者	小鳩交通(株)留萌営業所
運行区間	沿岸バス留萌駅バス前待合所～深川駅
運行日	平日(R7から長期休業期間も運行)
運賃	片道 1,300円
その他	廃線に伴う代替交通支援金 早朝便18年間、夜間便3年間

# 1. 事業概要

## ■ 運行ダイヤ

(1) 上り(留萌発→深川着)

区分	R5~R6		R7	
	留萌発	深川着	留萌発	深川着
早朝便①	5:54	6:44		
早朝便②	6:59	7:49		
早朝便			6:25	7:15
夜間便	19:10	20:00	19:10	20:00

(2) 下り(深川発→留萌着)

区分	R5~R6		R7	
	深川発	留萌着	深川発	留萌着
早朝便	7:50	8:40	7:15	8:05
夜間便	20:10	21:00	20:10	21:00

## ■ 通学利用者

通学先	R5	R6	R7	R8(見込み)
旭川永嶺高校	1名	1名	0名	0名
深川市立高等看護学院	4名	4名	1名	1名
深川クラーク記念国際高等学校	1名	1名	1名	0名
拓殖大学北海道短期大学	1名	1名	1名	0名
計	7名	7名	3名	1名

※R8の通学利用者について、実習の際に朝便は利用する可能性があるが、**夜間は通常利用しない。**

## 2. 利用実績

### 乗車実績(学生)

区分		ダイヤ	R5	R6	R7
上り	早朝便①	5:54	141人	49人	
	早朝便②	6:59	133人	144人	
	早朝便(R7~)	6:25			1人
	夜間便	19:10	0人	0人	0人
上り 小計			274人	193人	1人
下り	早朝便(~R7)	7:50	0人	0人	
	早朝便(R7~)	7:15			0人
	夜間便	20:10	93人	25人	5人
下り 小計			93人	25人	5人
合計			367人	218人	6人

### 乗車実績(一般)

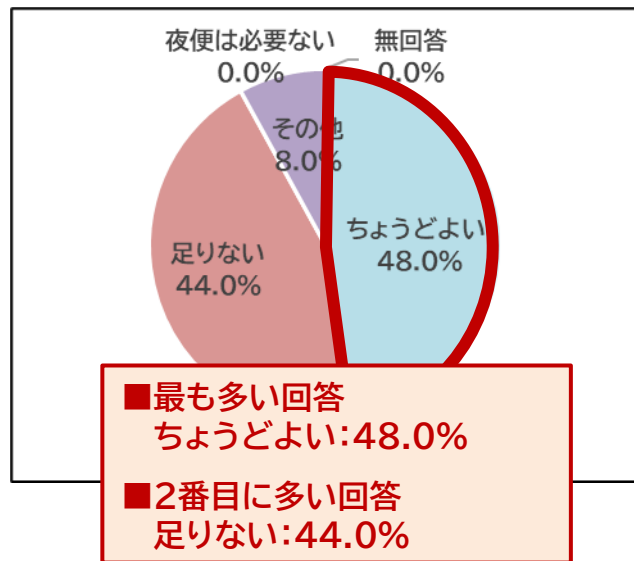
区分		ダイヤ	R5	R6	R7
上り	早朝便①	5:54	58人	82人	
	早朝便②	6:59	24人	34人	
	早朝便(R7~)	6:25			86人
	夜間便	19:10	17人	44人	25人
上り 小計			99人	160人	111人
下り	早朝便(~R7)	7:50	39人	41人	
	早朝便(R7~)	7:15			3人
	夜間便	20:10	28人	63人	35人
下り 小計			67人	104人	38人
合計			166人	264人	149人

# 3. 利用者アンケート結果

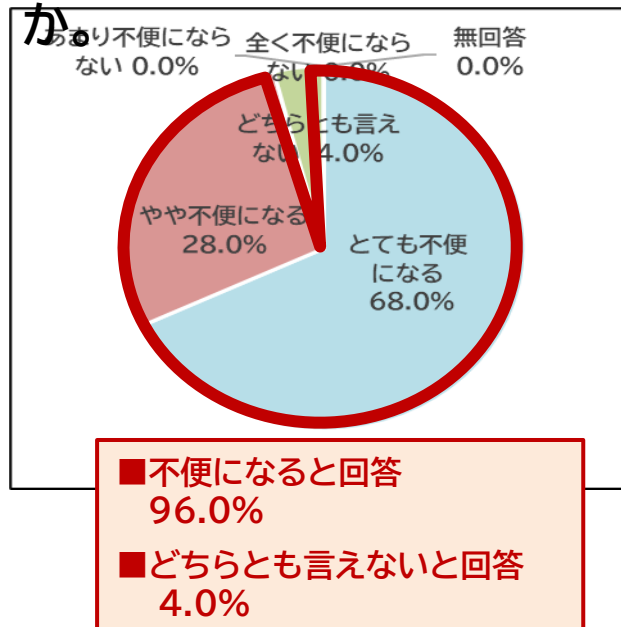
【対象者】 デマンドタクシー一般利用者、通学利用者  
【実施期間】 令和7年9月16日(火)～令和7年11月14日(金)  
【回収結果】 一般利用者:25件 通学利用者:2件/3件(回収率66.7%)

## ■ 主な回答

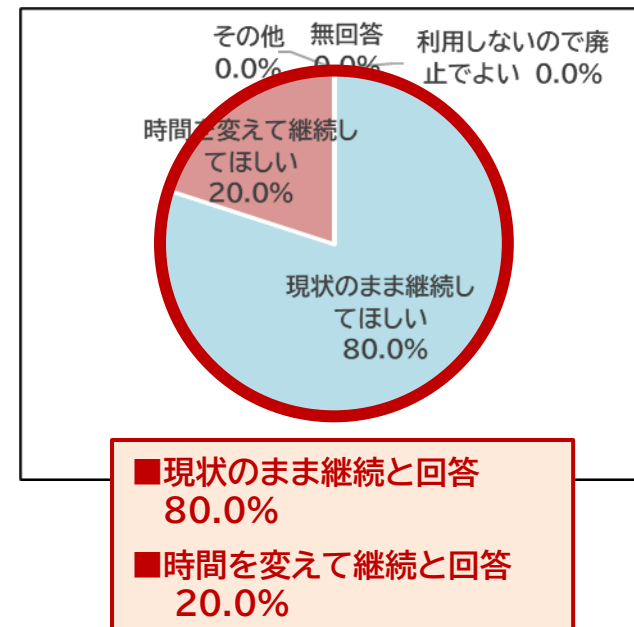
Q 夜便の運行便数について  
どう思いますか。



Q 今後、夜便がなくなった  
場合、不便になると感  
じますか。



Q 夜便の今後の運行につ  
いて教えてください。



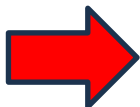
## ■ 主な自由記載

- ・留萌行きは札幌からの最終の特急に接続するようになれば使える。
- ・土日に利用できるありがたい。 ・便数を増やして欲しい。 ・せめてもう1時間でも遅い便。

# 4. 検証結果・課題

## 検証項目①

市外学校への通学手段の確保

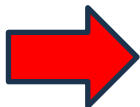


## 検証結果①

- これまでの利用実績からJR廃線時において鉄道を利用し市外学校へ通学する学生の移動手段を確保するという、当初の事業目的における重要な役割を果たしてきた。
- 一方、令和8年度以降の夜間時間帯における通学利用は通常は見込まれないことから、現行の運行形態による支援はその役割を完遂した。

## 検証項目②

早朝及び夜間時間帯における移動需要の実態



## 検証結果②

- 早朝・夜間時間帯には一般利用者の移動需要が存在することが明らかとなった。
- しかしながら、夜間時間帯における移動需要は、一部の利用者による限定的なものに留まっていることから、広く市民の移動を支える公共交通としての定着に至っていないといえる。
- 一方、早朝便は通院など市民の生活基盤を支える移動手段として明確な役割を果たしており、効果的な支援を継続することで、さらなる利用の促進と乗車密度の適正化を並行して進めていく必要がある。

## 課題

- ① 夜間便継続の妥当性
- ② 早朝便の利便性向上

# 5. 対応方針

## 課題①

夜間便継続の妥当性



## 対応方針①

- ・当初の事業目的の一つである「都市部の滞在時間の延長」に対する低需要、公共交通としての未定着を踏まえ、夜間便は実証期間の終了をもって廃止。
- ・今後は、夜間便の維持に充てていた交通資源と予算を、早朝便を含めた、広範な市民の移動を支える「生活交通網の充実」へと再配分。

### 夜間便ダイヤ見直し(案)

区分	上り		下り	
	留萌発	深川着	深川発	留萌着
現状	19:10	20:00	20:10	21:00
見直し(案)	廃止			

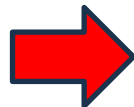
### 早朝便ダイヤ見直し(案)

区分	上り		下り	
	留萌発	深川着	深川発	留萌着
現状	6:25	7:15	7:15	8:05
見直し(案)	6:30	7:30	7:40	8:40

# 5. 対応方針

## 課題②

早朝便の利便性向上



## 対応方針②

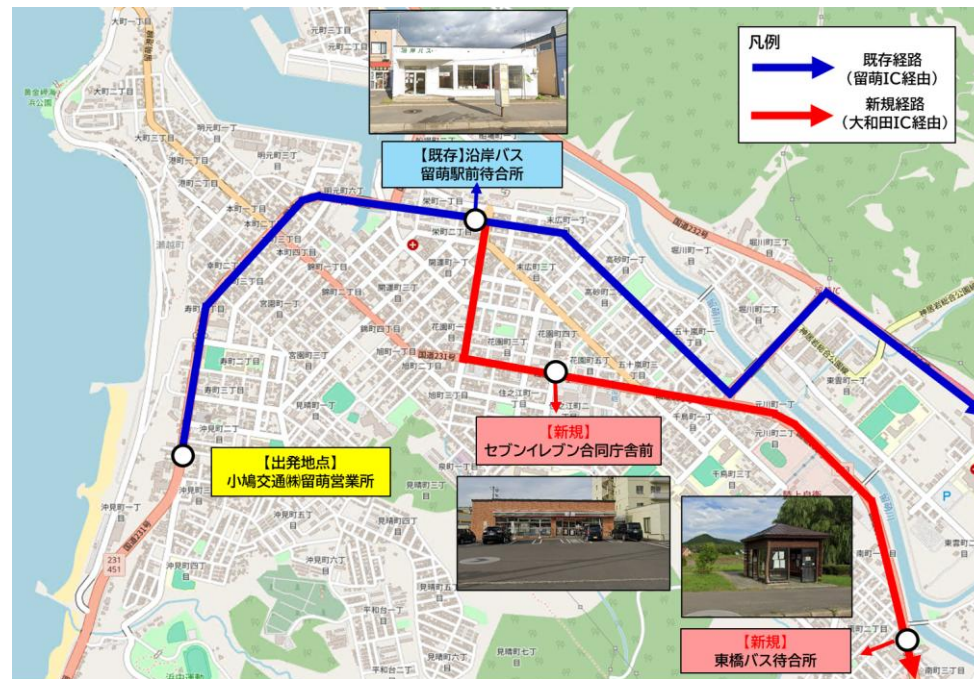
早朝便の利便性向上を図るため、乗降場所を拡充。

### 乗降場所拡充・運行経路変更(案)

区分	現状
留萌市内	沿岸バス留萌駅前バス待合所
深川市内	深川駅前
運行経路	留萌IC経由



区分	拡充・変更(案)
留萌市内	沿岸バス留萌駅前バス待合所 セブンイレブン留萌合同庁舎前店 東橋バス待合所
深川市内	深川駅前
運行経路	大和田IC経由



## 6. 総括

### 総括

- ・ JR留萌本線廃線後における代替交通として、一定の機能を果たしてきた。
- ・ しかしながら、夜間便は利用者が特定かつ限定的であることから、当初の目的の一つである「都市部の滞在時間の延長」に対する需要が低く、広く市民の移動を支える公共交通としての定着には至らなかった。
- ・ 限られた交通資源と予算を最大限に活用し、より広範な市民の移動を支えるためには、現状の運行形態を維持するのではなく、実情に即した「公共交通網の再構築」を進めていく必要がある。
- ・ 以上の検証結果を踏まえ、夜間便については、令和8年9月末をもって終了する。
- ・ 一方、早朝便については、乗降場所の拡充など利便性を高める改善を講じた上で、利用促進を図っていく。